

市民シスター10周年



▲『ペコロスの母に会いに行く』
舞台あいさつ

多い時で40館以上の映画館があり、たくさんの映画ファンでにぎわう映画文化にあふれる街だった天草。今ではその映画館も1館のみとなってしまいました。

本市では、市民の皆さんに映画鑑賞の機会を提供し、天草らしい風景や文化を将来につなげていっていただこうと「市民シアター」事業を実施しています。

純粋にストーリーを楽しんだり、非日常の世界を見て感動を味わったりして、映画館で特別なひとときを過ごしてみませんか。

問 文化課 ☎32-6784

市民シアターとは

平成27年度から実施している映画上映事業で、今年度で10周年を迎えます。映画鑑賞を通して、芸術・文化に触れる機会をつくるとともに、天草の一つの時代を象徴する映画文化を後世につなげていくことを目指しています。

この市民シアターでは、天草を舞台にした映画や市民の皆さんのリクエストから、年間約12本の映画を選定。たくさんの方に映画を

楽しんでもらえるように、ワンコイン料金（大人500円、子ども100円）で上映しています。

これまでの歩み

市民シアター開始以降、これまでに延べ1119作品を上映。子どもたちに大人気のアニメ作品のほか、平成28年度からは文化庁主催の優秀映画鑑賞推進事業を活用した芸術的魅力が高い作品の上映も行っており、多種多様な映画をお届けしています。

令和5年6月の第49回市民シ
アターで上映した『ペコロスの母
に会いに行く』では、原作者によ
る舞台あいさつを開催。コロナ禍
で激減した映画館に以前の活気が
戻りました。

さらに今年度、多くのリクエ
ストにより上映した『君に届け』に
は、市内をはじめ、九州各地、遠
くは関東からも来場者がありまし
た。また最近では、昔の姿を残し
た本渡第一映劇の建物やフィルム
作品の珍しさから、観光スポット
にもなっています。

市政だより

あまくさ 11²⁰²⁴月号

主要内容

- 2 市民シアター 10周年
- 6 第79回熊本県民体育祭天草大会
- 8 令和5年度決算報告
- 12 保険証の廃止と「資格確認書」発行
- 13 いきいき健康
- 14 くらしの情報
- 29 学芸員のイチオシ／天草の匂いただきます！
- 30 元気☆あまくさっこ／〇〇な人み～つけた！
- 31 ハッピーバースデー
- 32 宝島のわだい
- 34 キラリ天草人
- 35 市民のひろば
- 38 休日在宅病(医)院／水道修繕当番店
献血日程
- 39 お出かけ情報／市長コラム
- 40 児童虐待防止推進月間、女性に対する
暴力をなくす運動

天草市公式 SNS



LINE



YouTube



Instagram



Facebook

人のうごき

9月末日現在

9月中の異動

※()内は前月比

人 口	72,147人	(96減)	出生	21人
男	34,149人	(33減)	死亡	128人
女	37,998人	(63減)	転入	104人
世帯数	36,008	(21減)	転出	93人

問い合わせ先

本 庁	天草市役所 ☎23-1111 〒863-8631 天草市東浜町8番1号
支 所	牛 深 ☎73-2111 ・ 有 明 ☎53-1111 御所浦 ☎67-2111 ・ 倉 岳 ☎64-3111 栖 本 ☎66-3111 ・ 新 和 ☎46-2111 五 和 ☎32-1111 ・ 天 草 ☎42-1111 河 浦 ☎76-1111

市民シアター 10周年を記念した

特別上映 11月10^(日)~18^(月)

問 チケット販売について…本渡第一映劇 ☎ 23-1417 上映について…文化課 ☎ 32-6784



©松竹

祇園祭 (1968年・松竹)

10日^(日) 13:00~15:50 1日限り
開場 12:30

監督：伊藤大輔、山内鉄也

脚本：鈴木尚之、清水邦夫

出演：中村錦之助、岩下志麻、三船敏郎 ほか

.....
応仁の乱以降、京の町は度重なる戦や一揆で疲弊していた。そこで町衆は自治を求めて立ち上がり、その団結の象徴として、途絶えていた祇園祭を復興しようとする。テレビに押されて映画作品が矮小化するなか、伊藤大輔監督と中村錦之助があげた日本映画復興の掛け声に映画会社の枠を超えて豪華なスターやスタッフが集い、精魂込めて制作した本格時代劇！(2時間50分)

特別料金

・一般 1,000円
(本渡第一映劇で先行販売中)
※『藍より青く』鑑賞し放題の特典付き(100枚限定販売)

・高校生以下 100円
(当日券のみ)
※3歳未満無料

藍より青く (1973年・松竹)

11日^(月)~18日^(月) ※木曜休館

・13:00~14:35

・19:20~20:55 (16日^(土)のみ追加上映)

監督：森崎東 脚本：森崎東、熊谷勲

出演：松坂慶子、三國連太郎、大和田伸也 ほか

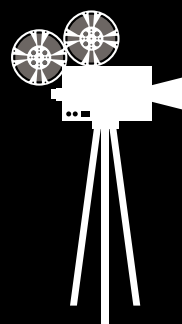
.....
敗戦が濃厚の太平洋戦争、徴兵が決まった網元の息子・周一と校長の娘・真紀の結婚問題を軸に、短い青春時代を精いっぱい生きる若者たちの姿を、天草の美しい海と自然を背景に描き出した青春群像劇の傑作！(1時間35分)

料 金
・大人 (高校生以上) 500円
・子ども (中学生以下) 100円
※3歳未満無料

※『祇園祭』の一般チケットを持っている人は、何度でも無料で観覧可



©松竹



市民シアターの舞台「本渡第一映劇」



映画の世界への入口



まずは入ってすぐのカウンターで受け付け



館内にはサインやポスター、パンフレットがずらり



2階の映写室にある映写機



78席ある1階席
スクリーンとの距離が近く臨場感たっぷり



現在では珍しい2階席からの眺め
映写室前の席は、カラカラという映写機が動く音を楽しめるのも魅力

interview

映画との出会いは6歳のころ。姉に連れられて訪れた映画館で、テレビとは違って真つ暗な空間で見る映画の特別感にのめり込み、お小遣いをためては通う映画館は、自分にとってもう一つの「学校」でした。
そんな大好きな映画を見られる本渡第一映劇が、平成元年に閉館したと知りました。当時住んでいた東京から天草に帰り、館長になんとか映画館を続けてほしいと約1年間交渉しましたが、経営的に難しく再開はできないとのことでした。そこで、映画好きな人たちを集め、3日間だけ映画館を使わせてほしいと館長に頼み込んで開催したのが「天草シネマパラダイス」です。来場者は100人ほど。でもその時に行ったアンケートで「天草に映画館は必要だと思いますか」の問いの解答欄は、全てが「YES」でした。みんなの思いを受け、天草から映画館をなくしたくない」との思いで「天草映画館復活委員会」を立ち上げ、平成10年に本渡第一映劇を復活させる

ことができました。
今の時代はデジタル上映が主流ですが、当館では35ミリ映写機によるフィルム上映も可能です。現在、フィルム上映を行っているのは全国でも珍しく、九州では2館だけ。フィルム映画はデジタルにはないアナログ感や質感を体験でき、撮影したままの映像を楽しめる貴重な遺産だと思っています。その貴重なフィルム映画の良さを知ってもらいたいとの思いもあり始めた「市民シアター」も、今年で10周年を迎えました。
映画の魅力は、新しい自分を発見できること。今まで興味がなかったジャンルにふと引き込まれることもあり、非日常を手軽に味わうことができます。普段映画館で映画を見ない人や映画館に行ったことがない人、特に天草の皆さんにはぜひ身近にある当館に足を運んでもらい、映画の楽しさ、素晴らしいを発見していただけたらと思っています。

映画は新しい自分との出会い

本渡第一映劇
代表 柿久和範 さん

